

愛甲農業科学専門学校 情報提供資料

専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドラインに基づき、愛甲農業科学専門学校の情報を、以下のとおり提供いたします。

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 概要

【法人名称】	学校法人 愛甲学院大阪	理事長 西村 公男
【学校名称】	愛甲農業科学専門学校	校長 西村 公男
【所在地】	法人本部 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目15番1号	TEL 06-6356-5901
	学 校 同 上	
【URL】	https://aicoh.ac.jp/agri/	
【創 立】	平成28年(2016年)4月1日	
【グループ】	学校法人 愛甲学院(神戸市)	

(2) 学校の教育理念・教育目標・特色・育成人材像

① 教育理念

次世代農業の担い手の道を、新しい農業のカタチである水耕栽培で切り拓く

② 目 的

農業分野において、安全で衛生的な野菜・果物を安定的に提供できる水耕栽培の技術者を育成することにより、我が国の食、食育、調理の向上、発展に寄与することを目的としています。

③ 特 色

人工光型水耕栽培に特化した専門学校として開校しました。水耕栽培を装置やLED等の機材、室温・湿度・養液濃度などの環境管理、ITを活用した環境制御まで、専門的に学べる専門学校です。

④ 育成人材像 < ディプロマ・ポリシー >

次に掲げるディプロマ・ポリシーに基づき、以下の能力を身に付け、学則に定める基準を満たした学生に卒業を認めます。

- (a) 次世代の農業の担い手の道を、新しい農業のカタチである水耕栽培で切り拓くために、真摯に取り組んだことが認められる人
- (b) 自分のための学びをとめず、実践を通じてレベルアップを目指せると認められる人
- (c) 価値観や感性の異なる様々な人たちを理解し、協働できると認められる人
- (d) マナーやコミュニケーションなどの、社会人としての基礎力を身に付けて、社会への貢献が期待できる人

2. 設置学科の教育

(1) 設置学科 システム栽培学科

入学定員：40名 総定員：80名

(2) 設置コース

令和8年度(2026年度)より、システム栽培学科に以下の3コースを設置し、システム栽培に関する知識に各コースの特色ある授業科目をプラスすることにより、専門性の幅を拡大し水耕栽培のスペシャリストと実社会で求められるゼネラリストとしての知識習得を目指します。

① 栽培実践コース

様々な水耕栽培野菜に適した栽培環境を整えるプロを目指すコース

② 農業×ITコース

IT技術で農業現場の課題を解決する実践的なエンジニアを目指すコース

③ 農業ビジネスコース

マーケティングと会計の知識で将来は農園の独立を目指すコース

(3) 入学資格

入学を志願する方は、次のいずれかに該当する方です。

- (a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (b) 高等専門学校の3年次を修了した者
- (c) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (d) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (e) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)を修了した者
- (f) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (g) 本校が、個別の入学審査により、第1号及び第2号に規定する者と同等の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(4) 受入方針 《 アドミッション・ポリシー 》

次に掲げるアドミッション・ポリシーに基づき、入学希望者を募っています。

- (a) 農業や水耕栽培に興味関心がある方
- (b) 協調性をもって協力してモノづくりをすることが好きな方
- (c) 目標を持って努力を継続できる方
- (d) 敬意や感謝の気持ちを持って人とコミュニケーションができる方
- (e) マナーやルールを守り、規則正しい生活ができる方

(5) 教育課程 《 カリキュラム・ポリシー 》

次に掲げるカリキュラム・ポリシーに基づき、水耕栽培を通じて社会に貢献できる人材を育成します。

- (a) 幅広い分野(農学・工学・経営)について、実習・講義・演習を通じて、専門的な知識やスキルを身に付けるための教育課程を編成します。
- (b) 教育課程の編成においては、基礎から応用、そしてより実践的な知識の修得と段階的に成長できるように履修科目を配置します。
- (c) 実習においては、基礎から応用そして課題研究と展開し、課題研究では自ら選択した植物を自らの責任において栽培し、自主性と責任性を育成します。
- (d) 専門的な知識や技術の修得だけではなく、集団の中で必要となるマナーやコミュニケーションなどの社会人として必要な基礎力を育成します。

(6) 進級・卒業の要件

① 進級の認定

各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、教職員会議にて審査し決定します。

② 卒業の認定

(a) 学科ごとに規定する修業年限以上在学し、学科ごとに定める授業時間数以上履修し、かつ所定の授業科目及び単位数を修得し、教職員会議の議を経て合格した者について校長が認定します。

(b) 本校を卒業するのに必要な授業時間数および単位数は、次のとおりです。

システム栽培学科 1,700 時間 (62 単位)

③ 称号の付与

卒業の認定を受けた者には、修了した専門課程学科に基づき、専門士の称号が付与されます。

農業専門課程 システム栽培学科

3. 教職員

(1) 教員数 (システム栽培学科)

- ① 専任教員 4名
- ② 兼任教員 1名
- ③ 特別講師 2名

(2) 教職員の組織

- ① 学 校 長 1名
- ② 副 校 長 1名
- ③ 教 員 3名
- ④ 講 師 1名
- ⑤ 特別講師 2名
- ⑥ 事 務 員 2名

4. キャリア教育と実践的職業教育

(1) キャリア教育

一人ひとりのキャリアプランを尊重し、徹底した個別指導で希望する職種に就けるようサポートしています。主な内容は、以下のとおりです。

① 就職サポートカレンダー

- (a) 1年生4月：就職の心構え (入学後のオリエンテーション時に説明)
- (b) 1年生10月：第1回進路希望調査
- (c) 1年生1月：履歴書の書き方 (自己PR・志望動機の作成)
- (d) 1年生2月：初級面接 (面接マナー・立ち居振る舞い)
- (e) 1年生3月以降：インターンシップ随時参加
- (f) 2年生4月：宿泊農業体験研修 (2泊3日) 岡山県真庭市
中級面接 (自己PR・志望動機を含めた面接トーク指導)
- (g) 2年生5月以降：個別面接指導 (応募企業に即した個別面接指導)
- (h) 2年生1月：入社準備 (社会人としての心構え)

② 就職実績

(a) 農業関連企業

株式会社野菜工房 株式会社スプレッド 医療法人神明会(ファイトケミカル食品)
鐘山グリーンテック株式会社 株式会社八百一の郷 株式会社オスミックアグリ茨城
エボルオ株式会社(かぐや農園) 河西いちご園 グランベリー八尾
株式会社いちご研究室 淡路島オリーブグローワーズ株式会社 リングテック株式会社

(b) 農業・植物工場機材関連企業

伊東電機株式会社

(c) 食品加工・販売関連企業

株式会社みやまえ 株式会社丸光 宝産業株式会社 大阪いずみ市民生活協同組合
関西トランスウェイ株式会社

(d) その他

大信鋼業株式会社 住吉冷蔵株式会社 松井記念病院 株式会社エイジェック
株式会社ティーエス 株式会社A T S

(2) 実践的職業教育

実践的職業教育の一環として実習を多く取り入れています。1年次の基礎的な水耕栽培から徐々に難易度を上げ、栄養素を高め美味しい野菜づくりを目指し、多彩な実習で実践力を磨きます。

① 実習スケジュール

- (a) 1年生前期：基礎栽培実習 … 水耕栽培の基礎をレタスの栽培実習にて習得
- (b) 1年生後期：初級栽培実習 … 様々な葉菜類の栽培を通して栽培技術を磨く
- (c) 2年生前期：中級栽培実習 … 果菜類の栽培を通して栽培技術をさらに磨く
- (d) 2年生後期：上級栽培実習 … 難易度の高い野菜の栽培に挑戦
課題研究実習 … 学生が研究課題として選んだ野菜栽培に挑戦

② 1・2年共通の実習

- (a) アクアポニックス実習 …… 植物の水耕栽培と魚の養殖を組み合わせた農法を学ぶ
- (b) ファーマーズマーケット …… 水耕栽培野菜の販売会
- (c) 水耕栽培装置製作 …… 自分が栽培する野菜に合った装置を設計・製作

③ 実習環境

栽培する野菜によって栽培環境は異なります。それぞれの野菜に合わせた室温設定を行えるように、様々な実習室をそろえています。

- (a) アクアポニックス研究室
- (b) 水耕栽培実習室 I
- (c) 植物工場研究室
- (d) 水耕栽培実習室 II
- (e) コンピュータールーム
- (f) 栽培装置製作室

④ インターンシップ

学生が希望する職種について、実際の作業内容を知るためにも、インターンシップへの参加を積極的に促しています。参加することで、やりたい仕事を体験し就職のミスマッチを防ぐとともに、仕事の魅力を体感することができます。

なお、所定の手続きを経て必要時間数以上参加した場合には、単位(授業科目：インターンシップ I・インターンシップ II 時間数：30 時間 単位数：1 単位)が取得できます。

(3) 産官学連携

植物工場の社員と本校教員が相互に現場の見学を行い、設備や栽培野菜などの情報交換を通じて得られた内容を教育に取り込み、実社会で通用する産業教育に努めています。

また、インターンシップを通して企業との情報交換を行い、企業が求める人物像を伺いながら学生の、社会人教育に繋げています。

さらに、岡山県真庭市との交流を通じて、農業体験研修や特別講義等を行い、農業に関連する職業の知識幅の拡大に努めています。

5. 様々な教育活動

(1) イベント

1年生と2年生の合同イベントを行い、学年の壁を越えてのコミュニケーション力や協調性を養うことを目的として行っています。

① ファーマーズマーケット（7月・10月・2月実施）

年3回の恒例イベントであり、学生が育てた野菜の販売会です。販売野菜の選定から販売価格の決定、広報活動まで学生が協力しながら進め、当日の販売会を迎えるイベントです。

② 愛甲農業祭（7月実施）

ファーマーズマーケットと学園祭をコラボさせたイベントです。野菜の販売以外に学園祭らしい企画も学生主導で行い、自主性と協調性、責任感を養います。

③ 愛甲マルシェ（毎月2回から3回実施）

学校外のスペースの一角をお借りして行う野菜販売会です。地域住民との交流の場にもなり、コミュニケーション力のアップに繋がります。

④ レクリエーション（10月）

⑤ 学生発表会（9月・2月実施）

学生自らテーマを決めて取り組んだ成果の発表会です。発表資料の作成や当日の発表を通してプレゼンテーション力を磨きます。

6. 学生の生活支援

(1) 学生支援の取組

① 学費の分納・延納制度

学費の納入期限までに納入が困難な場合に、事前相談のうえ分納や延納に応じています。

② 学生保険の加入

通学中や講義・実習中、学校行事参加中、インターンシップ中に発生した不慮の事故や災害について保険に加入しています。

③ 健康診断の実施

健康管理のため、定期健康診断を毎年実施しています。

④ 保健室の利用

保健室を設置して、ケガ等の応急手当や体調不良時に利用できるベッドを設置しています。

7. 学生納付金と就学支援

(1) システム栽培学科の学費

(単位：円)

年 度		入学金	授業料	施設費	教材費	合 計
1 年次	入学時	200,000	500,000	60,000	60,000	820,000
	後 期		500,000	60,000		560,000
	計	200,000	1,000,000	120,000	60,000	1,380,000
2 年次	前 期		500,000	60,000	60,000	620,000
	後 期		500,000	60,000		560,000
	計		1,000,000	120,000	60,000	1,180,000
合 計		200,000	2,000,000	240,000	120,000	2,560,000

- ① 選考料 30,000 円は、出願時に郵便為替証書にてお支払いください。
- ② 上記の他、実習費として每期（1 年次：前期・後期 2 年次：前期・後期）60,000 円が必要です。
- ③ 実習時の実習着及び計測機器等（約 15,000 円）については、実習開始までに購入してください。
- ④ 各種検定試験の受験料（可能な試験をすべて受験した場合 約 30,000 円）は、実費負担となります。
- ⑤ 宿泊を伴う農業体験研修は、一部学生負担となります。

(2) 入試制度と特典

入試制度としては、一般入試・AO入試・高等学校推薦入試・指定校推薦入試・社会人入試・外国人留学生入試があり、特典も準備しています。詳細はホームページの募集要項にてご確認ください。

(3) 奨学金と教育ローン等の取り扱い

- ① 日本学生支援機構奨学金制度
- ② 日本政策金融公庫

8. 学校の財務

(1) 予算管理と監査

財務については、期中において学校の運営方針及び事業計画書に基づき、月別収支予算を作成し予算管理を行っています。また、執行状況については月別予算実績に基づき管理を行い、年1回の監事による監査を実施しています。

(2) 財務情報の情報公開

財務情報を本校事務所内にて公開しています。

9. 学校評価

自己点検評価報告書を下記のホームページにて情報公開しています。

https://aicoh.ac.jp/agri/joho/2025/2025_jikotenken.pdf

10. 国際連携の状況

留学生入試を制度化し、積極的に受け入れています。また、海外からの実習施設見学についても積極的に受け入れています。

11. その他